

この地図は、市内の地質データを基に、「東京湾北部地震」が発生した場合における液状化の発生危険度を表したものです。

※地盤における地質の状況とそこで起こりうる地震(今回想定「東京湾北部地震(マグニチュード7.3)」)の両面から地域の液状化の危険度を示したものです。

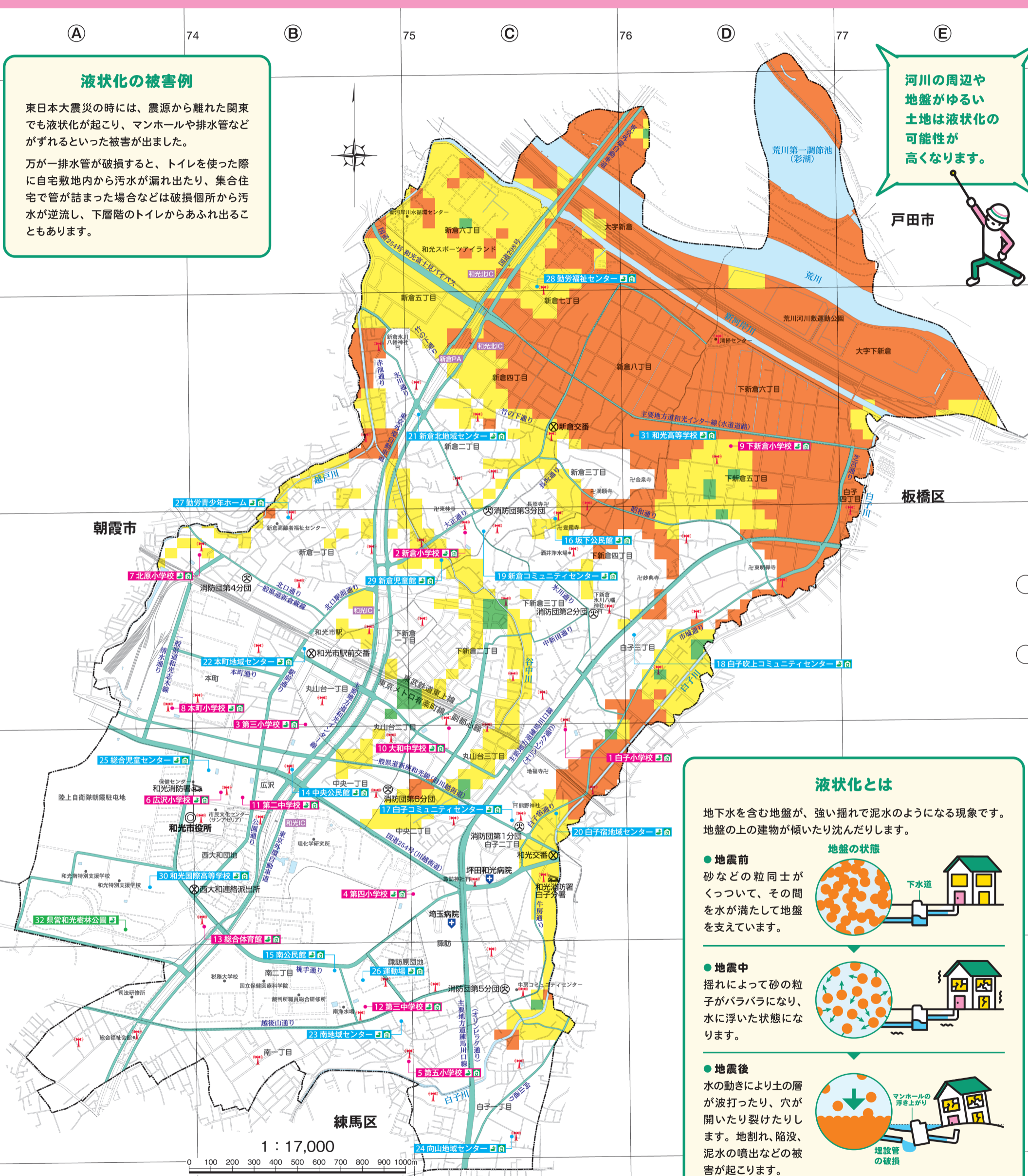
※同じ数値強度の地盤であっても、地質の違い(例:粘土層と細砂層)や地下水位の違いにより発生率が大きく異なります。

液状化の被害例

東日本大震災の時には、震源から離れた関東でも液状化が起こり、マンホールや排水管などがずれるといった被害が出ました。

万が一排水管が破損すると、トイレを使った際に自宅敷地内から汚水が漏れ出たり、集合住宅で管が詰まった場合などは破損箇所から汚水が逆流し、下層階のトイレからあふれ出ることもあります。

河川の周辺や地盤がゆるい土地は液状化の可能性が高くなります。

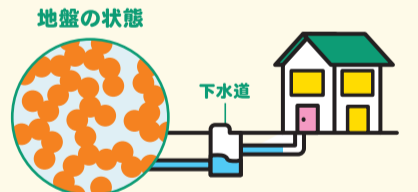


液状化とは

地下水を含む地盤が、強い揺れで泥水のような現象です。地盤の上の建物が傾いたり沈んだりします。

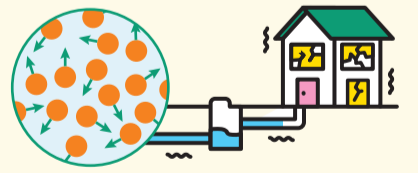
●地震前

砂などの粒同士がくっついて、その間を水が満たして地盤を支えています。



●地震中

揺れによって砂の粒子がバラバラになり、水に浮いた状態になります。



●地震後

水の動きにより土の層が波打ったり、穴が開いたり裂けたりします。地割れ、陥没、泥水の噴出などの被害が起こります。



液状化危険度分布

	極めて低い
	低い
	高い
	極めて高い

凡例

表記	名称	表記	名称
	指定緊急避難場所		救急指定病院
	指定避難所		防災行政無線
	市役所		市界
	交番		町丁界
	消防署・分署・消防団		避難路・指定緊急輸送道路

やってみよう

- ①自宅の場所に○をつけよう!
- ②自宅周辺の液状化危険度はどの程度ですか? ()
- ③想定している避難先はどこですか? ()